

Quick × Quick

919919.jp

自動車業界動向

2023.02.20

クイック・ネットワーク株式会社



Quick Network

www.quicknetwork.co.jp

Quick×ワンプライス成約車種 1月度ランキング

軽自動車



1位	タント 平均 H27年	785,000円
2位	N-BOX 平均 H29年	851,000円
3位	N-BOXカスタム 平均 H29年	1,010,000円
4位	ハイゼットカーゴ 平均 H25年	433,000円
5位	ハスラー 平均 H30年	1,238,000円

コンパクト



1位	プリウス 平均 H26年	1,253,000円
2位	ノート 平均 H28年	872,000円
3位	アクア 平均 H27年	802,000円
4位	フィット 平均 H27年	858,000円
5位	ヤリス 平均 H33年	1,590,000円

ミニバン・1BOX



1位	ヴォクシー 平均 H26年	1,649,000円
2位	アルファード 平均 H29年	3,583,000円
3位	セレナ 平均 H26年	1,146,000円
4位	ヴェルファイア 平均 H26年	2,236,000円
5位	ノア 平均 H26年	1,322,000円

SUV・クロカン



1位	ハリアー 平均 H28年	2,491,000円
2位	CX-5 平均 H27年	1,306,000円
3位	ランドクルーザープラド 平均 H30年	3,619,000円
4位	RX 平均 H28年	3,898,000円
5位	フォレスター 平均 H28年	1,778,000円

輸入車



1位	MINI 平均 H26年	1,611,000円
2位	Eクラス 平均 H27年	2,393,000円
3位	Cクラス 平均 H26年	2,175,000円
4位	1シリーズ 平均 H25年	1,224,000円
5位	5シリーズ 平均 H27年	1,970,000円

バン・トラック

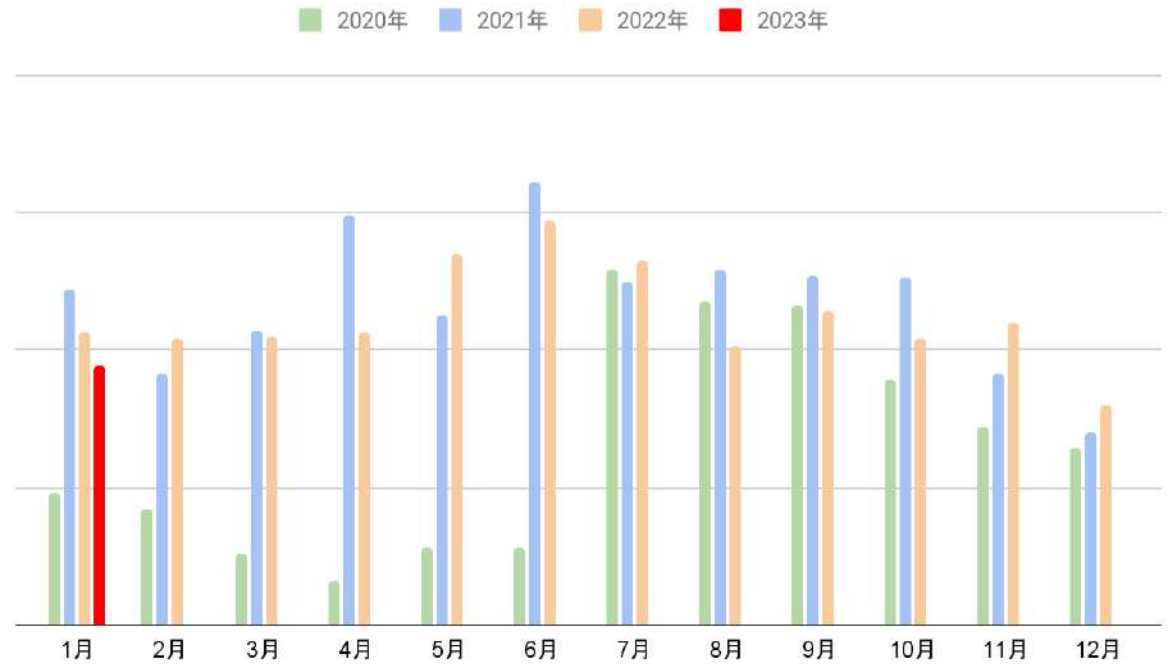


1位	ハイエースバン 平均 H25年	1,390,000円
2位	キャンター 平均 H25年	1,776,000円
3位	レジアスエースバン 平均 H24年	1,599,000円
4位	NV350キャラバンバン 平均 H28年	1,569,000円
5位	デュトロ 平均 H17年	1,418,000円

中古車輸出情報

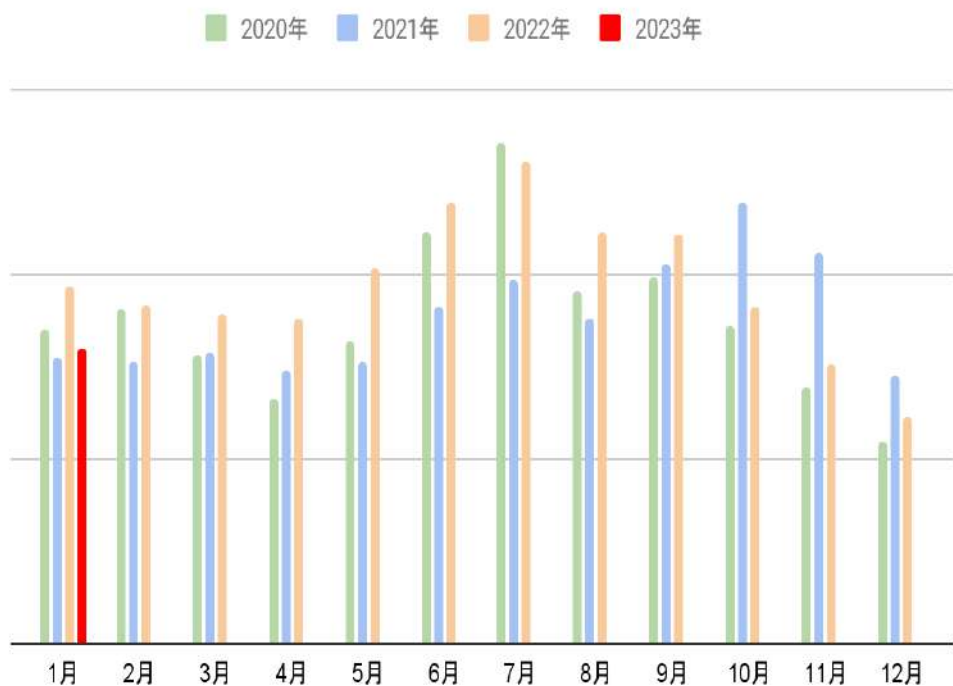
2023年1月 Quick×ワンプライス 輸出向け成約車両ランキング		
1位	ランドクルーザープラド	
	平均年式 H31年	平均金額 3,844,000円
2位	フォレスター	
	平均年式 H28年	平均金額 1,592,000円
3位	ヴァンガード	
	平均年式 H21年	平均金額 847,000円
4位	ハイエースバン	
	平均年式 H26年	平均金額 1,151,000円
5位	フィット	
	平均年式 H25年	平均金額 670,000円

Quick×ワンプライス輸出向け成約台数

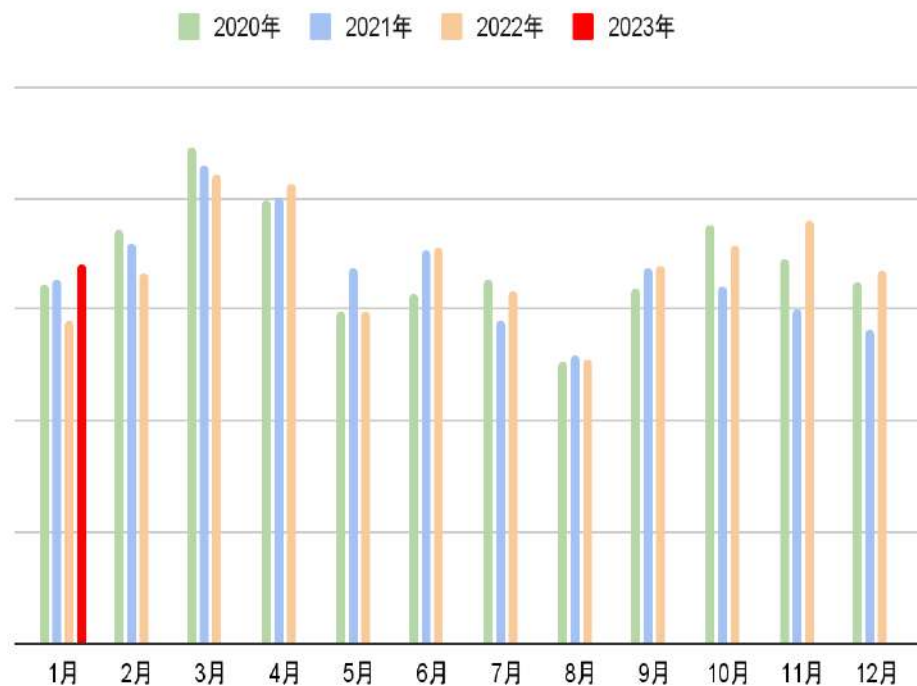


Quick×ワンプライス出品成約状況

Quick×ワンプライス入札件数



主要AA会場出品台数



前年1月 平均単価 164,1万円 → 今年1月 173,8万円

前年1月 平均単価 65,4万円 → 今年1月 72,7万円

Quickワンプライス平均単価が前年より約10万円UPし 173,8万円！

2023年 1月 新車販売ランキング

乗用車				
順位	ブランド通称名	ブランド名	台数	前年同月比
1	ヤリス	トヨタ	14,772	81.3
2	カローラ	トヨタ	14,463	114.1
3	シエンタ	トヨタ	11,038	319.5
4	ノート	日産	9,875	117.9
5	ルーミー	トヨタ	7,674	71.6
6	アクア	トヨタ	7,130	72.3
7	ヴォクシー	トヨタ	7,068	398.4
8	ノア	トヨタ	6,859	415.7
9	フリード	ホンダ	5,808	120
10	アルファード	トヨタ	5,144	110.8
11	ハリアー	トヨタ	4,879	160
12	RAV4	トヨタ	4,750	261.4
13	ソリオ	スズキ	4,703	128.1
14	クラウン	トヨタ	4,498	280.1
15	ライズ	トヨタ	4,447	52.4

軽自動車				
順位	ブランド通称名	ブランド名	台数	前年同月比
1	N-BOX	ホンダ	19,792	103.0
2	タント	ダイハツ	14,330	179.4
3	ムーヴ	ダイハツ	10,238	130.0
4	スペーシア	スズキ	10,189	184.8
5	ルークス	日産	7,956	265200.0
6	ハスラー	スズキ	7,180	153.6
7	ワゴンR	スズキ	7,157	120.9
8	アルト	スズキ	5,453	103.3
9	ミラ	ダイハツ	4,901	109.9
10	タフト	ダイハツ	4,788	104.6
11	サクラ	日産	4,213	-----
12	N-WGN	ホンダ	3,690	129.7
13	ジムニー	スズキ	2,740	74.9
14	eK	三菱	2,183	120.8
15	デイズ	日産	2,078	40.3

「一般社団法人 日本自動車販売協会連合会」及び「一般社団法人 全国軽自動車協会連合会」より引用

自動車業界トピックス

2023年2月25日～3月5日

GLION 39 Fair 総力祭が開催！！



総力祭

2.25 SAT ▶ 3.5 SUN

絶対にご満足いただく決意の9日間



20ブランドの自動車正規ディーラー・レストラン・ミュージアム・ブライダル・カーバリューチェーン・ライフスタイル事業などを手掛けるGLIONグループが

総力を挙げた感謝の決算フェアを開催

CHANGE THE EARTH
カーボンニュートラルの未来を皆様とともに

新規入会

Quick×ワンプライス

初落札会員様限定 特別キャンペーン

ワンプラ車輛
落札手数料
18,000円が
なんと

無料!!

※キャンペーン期間中 30台まで
※Quick×ワンプライス車輛のみ対象となります
連携先出品車輛は含まれません

Quick×Quick



共有在庫車輛を在庫リスク無く
お客様と商談し販売できます！

自社のマージン（利益）を足して
ユーザー様と商談できる商談モード
「商談する」も無料で利用できます！



Quick会員限定

書類不要！
入会手数料無料！



入会手数料
月額費用
無料!!

インターネットでオークション参加

IAA WEB 下見検索・マイリスト登録・現地下見サービス
不在入札など便利な機能が盛り沢山！

IAA リアル リアルタイムでセリに参加
アラーム機能でセリ時間をお知らせ！

クイック・ネットワーク株式会社 TEL:050-3628-8699

自動車業界トピックス

【特集】2023年自動車流通の展望

新車生産体制回復、需給改善に期待高まる

昨年を振り返ると自動車流通業界にとっては、マイナスの外部環境下にあった一年といえる。いまだ終息を見せないコロナウイルスの影響や半導体不足による新車の減産、ウクライナ侵攻や急速な円安の影響を大きく受けた。昨年の10月以降幾分和らいできているとはいえ、中古車流通市場はタマ不足で相場は高騰、昨年来30カ月連続で前年同月比を超えているという状況だ。今後もこうした傾向が続くのか、昨年を振り返りつつ今年の展望を市場関係者に聞いた。

まず、新車市場に目を向けると、昨年11月時点の累計では、約385万台（前年比約91.4%）で12月が昨年並だとしても420万台には届きそうにない。一昨年の9月以降、半導体不足と部品調達難の影響で新車ユーザーが高年式中古車に流れ、販売台数減少が加速した。昨年8月までは15カ月連続で前年割れとなってしまった。

こうした中、昨年9月後半以降は新車製造も回復の兆しを見せており3カ月連続で前年同月比増となった。今年は人気車のフルモデルチェンジも発表されるなど期待が寄せられている。

一部報道であったようにトヨタ自動車が1月～3月で、国内生産が高水準になる見通しもあるなど明るい材料もある。各メーカーでこうした動きが出始めれば、国内販売向けのバックオーダーが解消され、一気に需給が改善されることにも期待が高まる。

オークション市場に関しては、年間を通じて出品台数、成約台数ともに前年をやや下回った。上半期は新車生産の遅れからくる流通量不足が大きく影響し、出品台数の確保が難しかったが、成約率は高い傾向がみられた。年末が近づくにつれ、輸出の減少から、成約率は下がったものの、再出品車両が増加することで、総出品台数も増加となった。「小売に元気が無い」との声も聞こえる。

今後については、「新車生産の動向と輸出の動きに掛かっている」という声が多い。新車生産の遅れ、原材料高騰、海外情勢など危惧することは多いが、最大の懸念材料で



ある新車生産が拡幅すれば、ある程度、これまで通りの流通に戻ると思われる。

中古車販売（登録台数）については、昨年11月時点で約580万台を超え前年比約93.6%と相場高騰による影響を大きく受けた。10月以降需給は改善しているが、仕入れが難しい状況は続いている。東海地区の中古車販売店は「1年を通じて販売状況は芳しくなかった。AA相場の高騰から仕入れ価格が高く、売れ筋の車両を揃えることができず、また、仕入れ価格の上昇分を販売価格に転嫁することもできないため利益の目減りにつながった」と昨年を振り返る。

AA相場の仕入れを基本とする販売業者が多いので、相場が下がってこないと厳しい現状に変わりはない。例年では、新年から繁忙期に入るが、新車生産が増えてことないと全体の流通量が増えないので、新車生産の増産を期待する声が多い。

10月から始まる中古車の支払総額の表示義務化の対応にも本格的な準備が必要になる。大手販売店では昨年より立ち上げたプロジェクトチームを中心にシステム改修を実施、新しい中古車販売を確立しようとしている。

中古車輸出市場に目を向けると、昨年は、海外現地での中古車ニーズは潜在的にはあるが、「AA相場高騰」、「慢性的な船腹スペース不足」、「外貨不足による送金制限」、「急激な為替変動」といった要因により、車両を購入したくても購入し難い環境があった。

船腹スペース不足により、年式規制の海外現地到着月を考慮して、例年よりAA会場での仕入れの期限が前倒しになったようだ。加えて、海外各国で「インフレによる先行き不安から車両買替意欲低下」、「コロナバブル崩壊」等により、海外現地での中古車小売が鈍化してきている。

こうした中、今年は、昨年中に行われた「コロナの景気対策の反動（海外現地でも車両購入時の税金軽減などを取り入れて需要の先食いをした）」や、「インフレによる景気後退」、「新車生産の回復による中古車需要減少」も懸念材料として加わり、輸出台数上位国を中心に日本からの中古車輸出台数はなかなか伸び難いと思われる。中古車輸出コンサルタントは「東アフリカ諸国に関しては横ばい、もしくは若干のプラスになると思われる。特にケニアに関しては、輸出台数が伸びる可能性がある」と話す。その要因としては、「2022年8月のケニア大統領選挙での政権交代による輸入規制変更を懸念した買い控え」が発生した点が挙げられる。船腹スペース不足の問題に関しては、今年も改善の見込みは厳しく、昨年同様に船積みまでに時間を要することが予想される。

Quick×Quick 便利ツール

1石12鳥! カンタン出品!
「安心落札! ワンプラの決定版」


Quick×Quick



Quick名変
車庫・名変・抹消・電子申請サービス

- 車庫と名変で**5,300円** (税込5,830円)
(手数料一律・OSS申請の場合)
- 全国の行政書士をマッチング
- アプリ無料
- 県外封印 (プライム会員のみ)

詳しくはコチラ ▶



Quick×スキップサポート
1,000万円の仕入れ資金サポートサービス!!
儲けのチャンスを逃しません!!



Quick×Quick 廃車出張買取サービス

買取金額
地域 No.1
挑戦中!!



Quick×輸送
オークション会場からの輸送も、個人宅への輸送もお任せ下さい!!

輸送料金
比べて下さい!!



Quick×モバイル

「出品車両メンテナンス / 出品車両検索・商談 / ヤフオクメンテナンス / Quick×輸送」



ヤフオク! 月額 10,000円^(新車) で
出品し放題!!

台数無制限



Quick×Quick PRO
車販店の為のオールインワンプラットフォーム



Quick×Quick会員なら多くの便利なサービスをご利用頂けます!!